

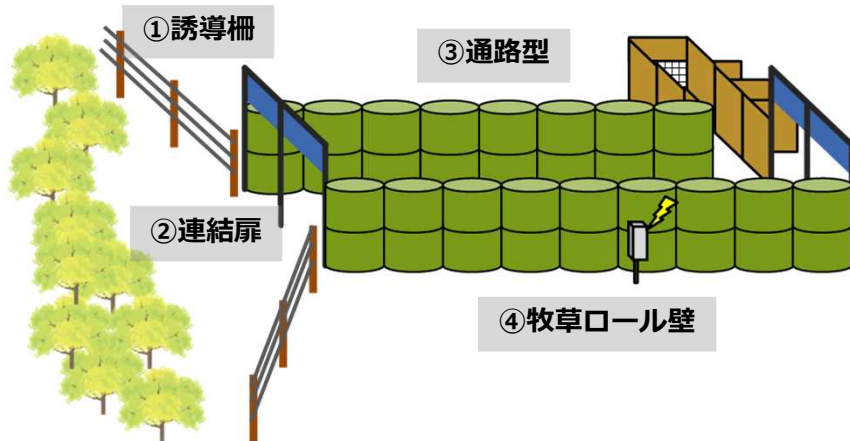
牧草地に適したエゾシカ囲いわなの開発

背景

エゾシカによって毎年約20億円の牧草被害が発生。
銃より安全性が高く、シカ肉を利活用しやすい捕獲法が求められている。

成果

1 従来にはなかった4つの特徴

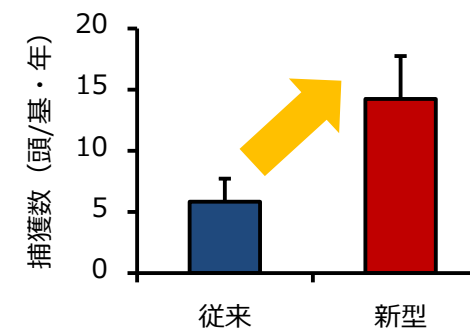


牧草地に適した新型の囲いわなの特徴

- ①誘導柵
電気柵によってシカを扉まで誘導
- ②連結扉
広い入口でシカの警戒心を低減
- ③通路型
見通しがよく、シカが侵入しやすい
- ④牧草ロール壁
牧草地での入手が容易
飼料として再利用可能
シカが見慣れた構造物

2 効果的な捕獲の実現

- ✓ 従来の2倍以上の捕獲に成功
- ✓ 捕獲後に牧草被害が1/5に低減



従来と新型の囲いわなの捕獲実績

期待される効果

市町村や地域協議会への普及による牧草被害の低減と利活用しやすいシカ肉の確保。
北海道産ジビエの利活用率向上による地域振興。